



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】第22回 江戸歴史講座（柳沢吉保没後300年回顧企画）「文化都市・江戸の誕生—柳沢吉保の素顔と「首都東京」への道」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>明治元年の東京遷都が可能だった背景には、江戸の文化が「千年の都」である京都に匹敵する水準に高められていたことがあげられます。この「文化都市・江戸」の誕生を主導したのは元禄時代の政治家、柳沢吉保でした。今年2014年は、彼の没後300年に当たります。従来は、赤穂浪士や徳川光圀との対立などに人々の関心は向けられがちでしたが、本講座では吉保を「卓越した文化プランナー」という観点から見直し、その人間像に新たな光を当てます。</p> <p>吉保が高く評価した「源氏文化」とは何か。またそれを京都から江戸に移植したことで、江戸の都市文化がどのように変貌したのかを、吉保の文化政策に助言を与えた文化人や、彼の妻たちが残した素晴らしい文学作品、さらに六義園の画期性についても触れるなど、多様な観点から迫ります。</p>

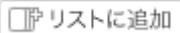
	※千代田区民の方は参加費が割引となりますので、住所が確認できるものをお持ちください。
日にち	2014年02月27日（木） 19:00から20:30
日にち説明	当日の受付開始 18:30～
場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	60名（申込順）
参加費用	1000円（千代田区民500円）

講師・出演者	島内景二
プロフィール	<p>■島内景二（しまうちけいじ） 電気通信大学教授 博士（文学） 国文学研究として『源氏物語』を専攻。柳沢吉保については「源氏物語を最も高く評価した権力者」として注目、再評価に取り組む。</p> <p>主著に『北村季吟 この世のちの世思ふことなき』（ミネルヴァ書房）、『柳沢吉保と江戸の夢—元禄ルネッサンスの開幕』（笠間書院）、『心訳・鳥の空音—元禄の女性思想家、飯塚染子、禅に挑む』（笠間書院）などがある。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

問い合わせ先	日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2014年01月07日 10:00 から2014年02月27日 19:00
申込方法	電話(03-3502-3340)、Eメール (college@hibiyal.jp)、来館(1階受付)いずれかにて、①講座名(または講演会)、②お名前(よみがな)③電話番号をご連絡ください。

発信日	2014.01.07
-----	------------

 印刷
  リストに追加

ツイート